



2025年7月9日

各 位

会 社 名 株式会社 QD レーザ
代表者名 代表取締役社長 大久保 潔
(コード番号：6613 東証グロース)
問合せ先 常務執行役員経営企画室長 武政 敬三
(TEL. 044-333-3338)

「100 億宣言」掲載のお知らせ

当社は、中小企業庁が推進する取り組み「100 億宣言」に参画し、今後 10 年間で売上高を 10 倍の 100 億円規模へと成長させるビジョン「10 by 10 to 100」を策定したことを発表いたします。宣言の内容は 100 億企業成長ポータルにて公開されています。

「100 億宣言」 公式ロゴマーク



100 億円企業成長ポータル： <https://growth-100-oku.smr.j.go.jp/>

当社は、今後 10 年間で売上高 100 億円企業への成長を目指す『10 by 10 to 100』ビジョンを掲げております。このビジョン実現の中核は、量子ドットレーザをはじめとした当社が世界に誇る最先端のレーザ、光学技術です。AI データセンター向けシリコンフォトニクス市場はもちろんのこと、自動運転、医療、センシング、レーザ加工といった、さらに多様な先端分野への応用展開に向けて、国内外のキープレイヤーとの共創を強気に推進してまいります。

まずは事業基盤の収益力強化による着実な黒字化を実現し、今後顕在化する旺盛な需要増に合わせて、製造設備への戦略的投資を通じ、生産能力の拡大を計画的に進めていく方針です。

<代表取締役社長 大久保 潔 メッセージ>

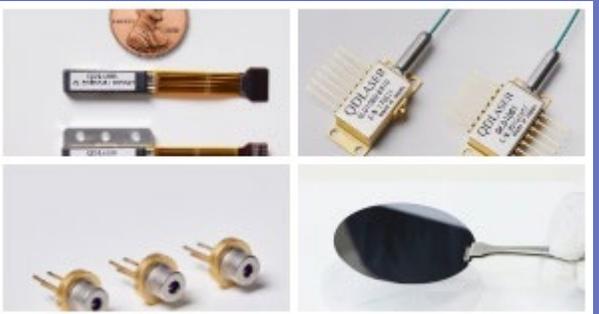
『人の可能性を照らせ』—この揺るぎない理念のもと、私たちは半導体レーザ技術の新たな地平を切り拓くことに情熱を注いでまいりました。今、私たちの量子ドットレーザ技術は、かつてないほど大きな可能性の扉を開こうとしています。それは、お客様の課題解決に留まらず、次世代情報社会の基盤を支え、人々の暮らしをより豊かにする可能性です。

この大きな可能性を現実のものとするためには、私たち自身の変革と、お客様やパートナーとのより深い共創関係が不可欠です。私たちは、技術的な挑戦から決して目を背けることなく、一つひとつの課題に真摯に向き合い、着実に歩みを進めていく覚悟です。今回の「100 億宣言」は、その決意表明に他なりません。全社一丸となってこの大きな目標に挑み、日本の技術力とものづくりの力を世界に示してまいります。

皆様の変わらぬご支援とご期待をお願い申し上げます。

以 上

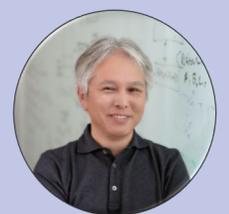
人の可能性を照らせ。



半導体レーザ製品

- 本社所在地：神奈川県川崎市川崎区
- 事業概要：半導体レーザ関連製品の製造及び販売
- 常時使用する従業員数：48名
(2025年3月末時点)
- 現在の売上高：13.1億円
(2025年3月期)
- 法人番号：8020001085428
- Web：https://www.qdlaser.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
大久保 潔

半導体レーザの力で、人類の「できる」を拡張する。

『人の可能性を照らせ』－私たちQDレーザは、最先端半導体レーザを通じてAIやロボティクスが活躍する次世代情報社会の実現加速に貢献いたします。ここに、今後10年間で売上高を10倍とし、100億円企業へと飛躍する『10 by 10 to 100』ビジョンを宣言します。

このビジョン達成の中核は、長年開発してきた量子ドットレーザ技術を、グローバルなパートナーとの共創を通じて、シリコンフォトニクス市場をはじめとする最先端分野に供給することです。ディープテック企業としてAIデータセンターや自動運転といった先端領域で革新を起こし、日本の高度な技術力とものづくりの精神を世界に示してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 2035年度売上高100億円超の達成に向け、下記の実現を目指す。
- ・量子ドットレーザの**本格的な量産体制**を構築、稼働
 - ・シリコンフォトニクスに加え、新たな**先端分野への応用**

課題

- ・レーザデバイス(LD)事業における**既存製品群の着実な成長**
- ・視覚情報デバイス(VID)事業の構造転換による**収益性強化**
- ・当社製品群への需要増に対応するための**生産キャパシティの継続的な確保と最適化**
- ・量子ドットレーザを含む当社製品を採用いただく**顧客製品事業化の進展**

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・既存製品群安定供給体制の確立、本格的量産への対応に向け**製造設備への投資を通じた生産キャパシティの継続的拡大**
- ・最先端分野のキープレイヤーとの連携など**顧客との共創による製品開発の加速と市場適合性の向上**

実施体制

- ・技術者の高い能力と専門性を最大限に活用
- ・(LD) 顧客企業との協創的な製品開発
- ・(VID) 他社と連携した共同事業化
- ・継続的な人材採用、育成
- ・上場企業としての管理体制

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです